

インフルエンザ週報 2023 年 第 21 週 (5 月 22 日 ~ 5 月 28 日)

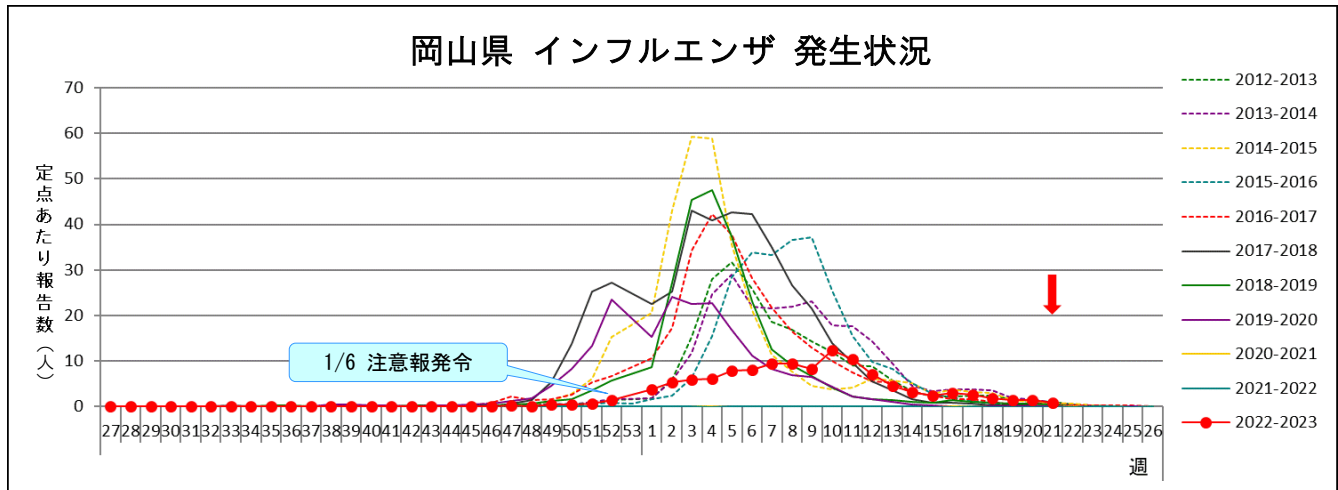
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 73 名（定点あたり 0.87 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 6 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 2 名の報告がありました。

【第 22 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 3 施設でありました（5 月 29 日～31 日）。



インフルエンザは、県全体で 73 名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり 1.35 → 0.87 人）。岡山県は「**インフルエンザ注意報**」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、真庭地域（6.00 人）、備中地域（1.33 人）、備北地域（1.17 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況に注意するとともに、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザを防ぐため、ひきつづき感染予防に努めましょう◆

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行も踏まえた対応をお願いします。)

【予防と対策】

- 基本的な感染防止策の徹底
 - ・状況に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
 - ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
 - ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- 健康的な日常生活
 - ・十分な休養、バランスのとれた食事
- あらかじめの備え
 - ・インフルエンザワクチンの予防接種
 - ・新型コロナウイルス抗原定性検査キット（「体外診断用医薬品」もしくは「第一類医薬品」）や自宅療養に必要な解熱鎮痛薬等の購入



© 岡山県「ももっち」

【発熱等の症状が出た時は】

- 外出を控える
 - 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
 - 水分を十分にとり、安静にして休養をとる
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況（人）		推移	地域名	発生状況（人）		推移
岡山県全体	患者数	73		備 中	患者数	16	
	定点あたり	0.87			定点あたり	1.33	
岡山市	患者数	11		備 北	患者数	7	
	定点あたり	0.50			定点あたり	1.17	
倉敷市	患者数	9		真 庭	患者数	18	
	定点あたり	0.56			定点あたり	6.00	
備 前	患者数	1		美 作	患者数	11	
	定点あたり	0.07			定点あたり	1.10	

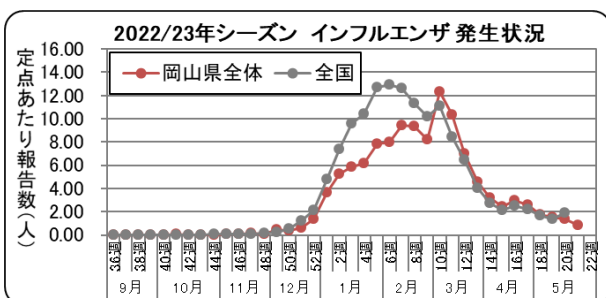
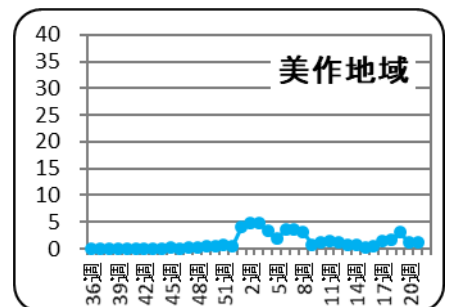
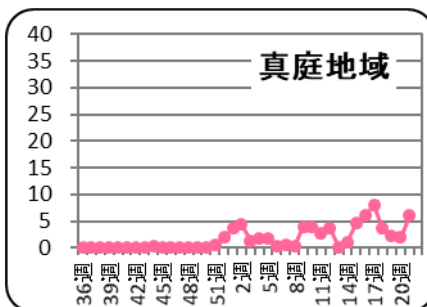
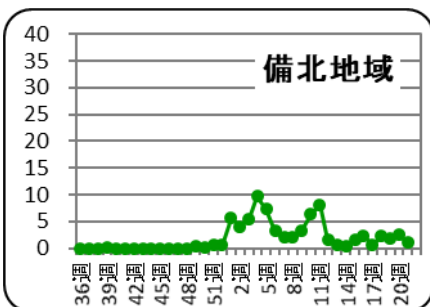
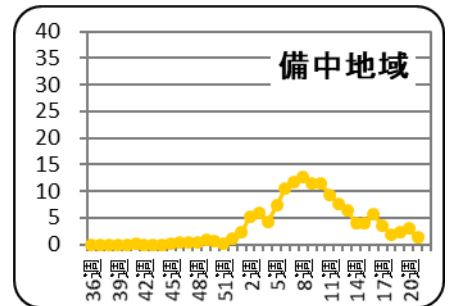
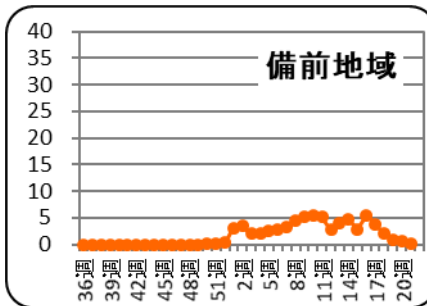
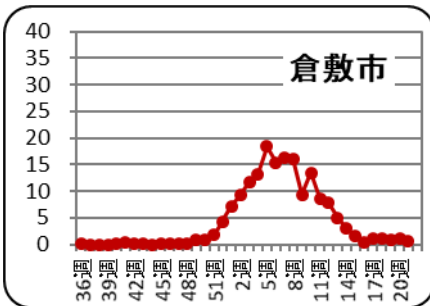
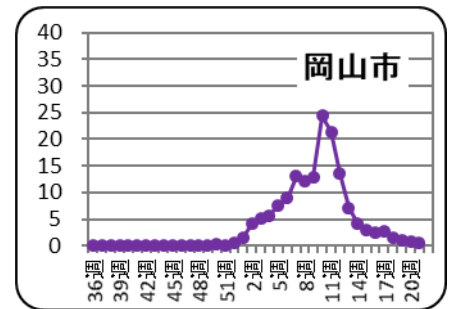
【記号の説明】前週からの推移 ：大幅な増加 ：増加 ：ほぼ増減なし ：大幅な減少 ：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	基準値
0 < 10 未満		0

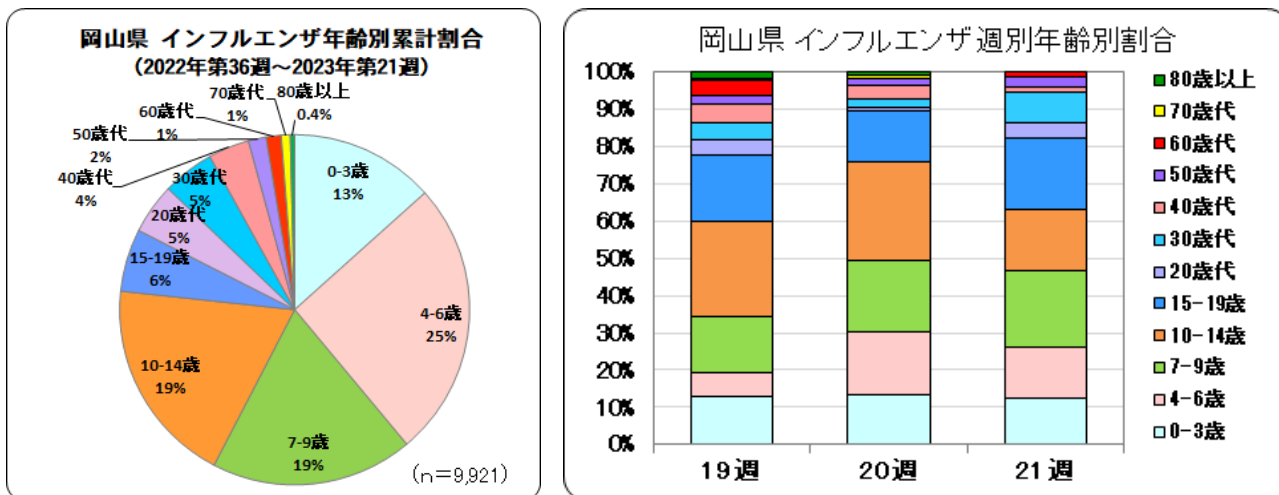


全国集計 2023 年第 20 週（5/15～5/21）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 1.89 人となりました。都道府県別では、新潟県（5.92 人）、山形県（5.63 人）、群馬県（4.54 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。36 都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

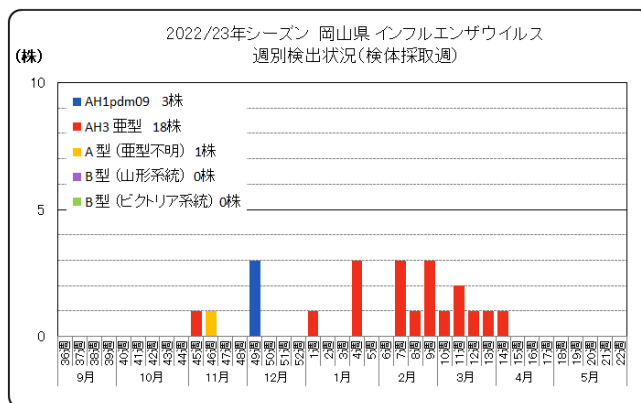
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、以下のとおりとなっています。



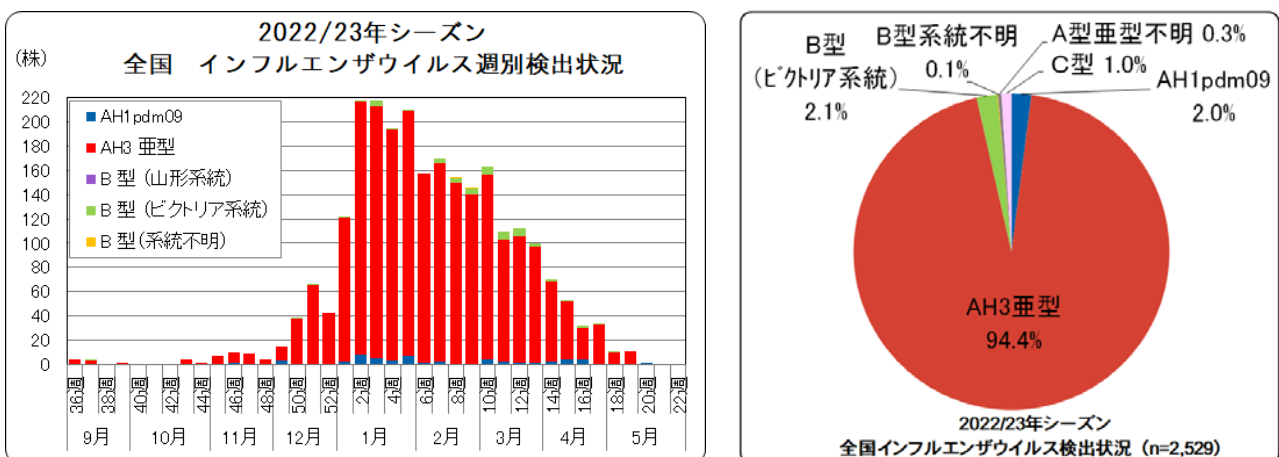
3. インフルエンザウイルス検出状況

2023 年第 21 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 22 株で、その内訳は、AH1pdm09 が 3 株、AH3 亜型が 18 株、A 型（亜型不明）が 1 株となっています。



今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 51 株、AH3 亜型が 2,388 株、B 型（ビクトリア系統）が 54 株、B 型系統不明が 2 株、A 型亜型不明が 8 株、C 型が 26 株となっています（5 月 30 日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

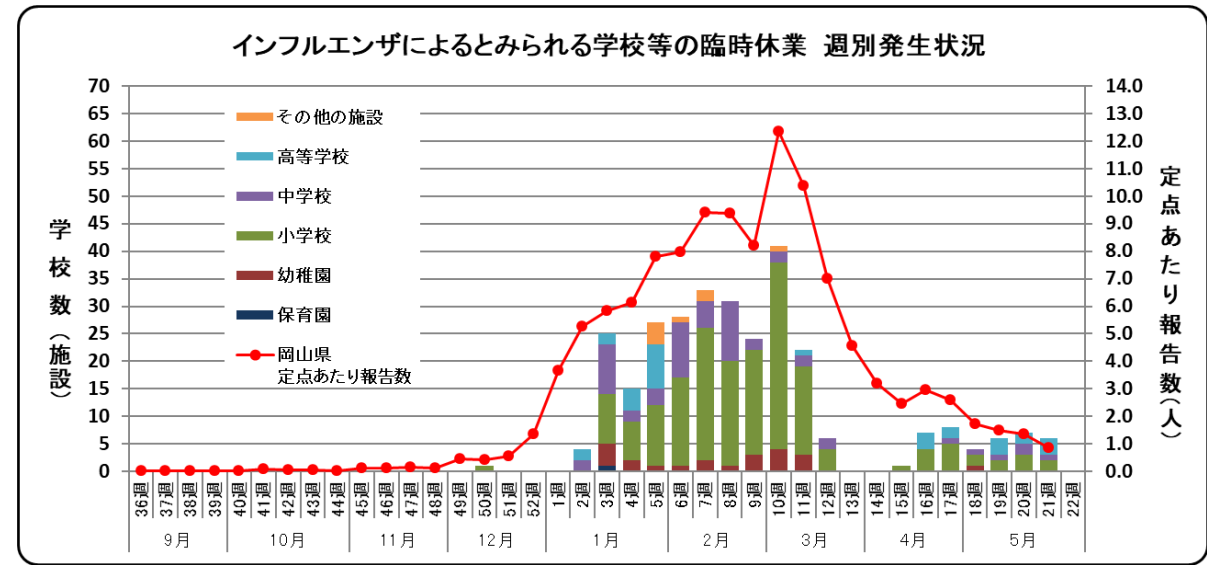


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、6施設でありました。

【第21週 臨時休業施設数】

▽岡山市 2 ▽総社市 1 ▽真庭市 3



1) 臨時休業施設数の内訳

第21週:6施設 累計:296施設

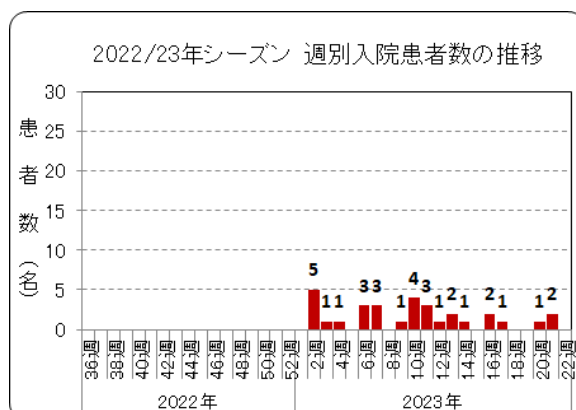
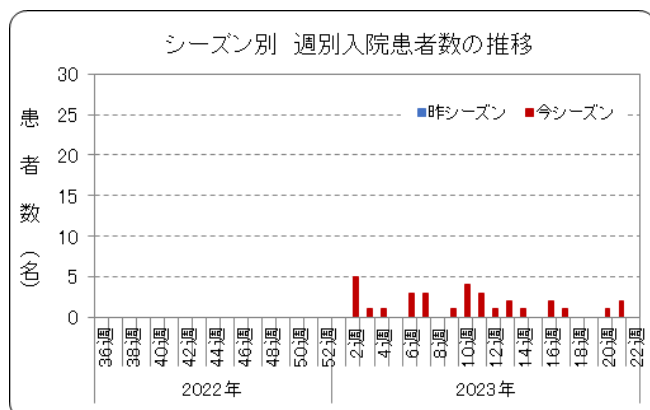
	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	1	0	22	2	179	1	56	3	30	0	8

2) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	104	4472	79	3899	6	296	0	6	0	55	6	235	R4.12.12
岡山市	49	1935	27	1710	2	120	0	1	0	8	2	111	R4.12.12
倉敷市	0	1097	0	955	0	77	0	1	0	8	0	68	R5.1.16
備前地域	0	290	0	257	0	26	0	1	0	10	0	15	R5.1.23
備中地域	10	760	10	635	1	42	0	1	0	14	1	27	R5.1.17
備北地域	0	37	0	34	0	3	0	0	0	1	0	2	R5.2.13
真庭地域	45	166	42	155	3	9	0	2	0	4	3	3	R5.3.6
美作地域	0	187	0	153	0	19	0	0	0	10	0	9	R5.1.17

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）
 インフルエンザによる入院患者は、2 名（15～19 歳 1 名、80 歳以上 1 名）の報告がありました。
 幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 21 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数					1							1	2
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず					1							1	2

* 重複あり

【2022 年 9 月 5 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数	2	9	5	4	1	1		1	4	1		3	31
ICU 入室 *									1				1
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *									1				1
頭部 MRI 検査(予定含) *		4	3	1									8
脳波検査 (予定含) *		1											1
いずれにも該当せず	2	5	2	3	1	1		1	2	1		3	21

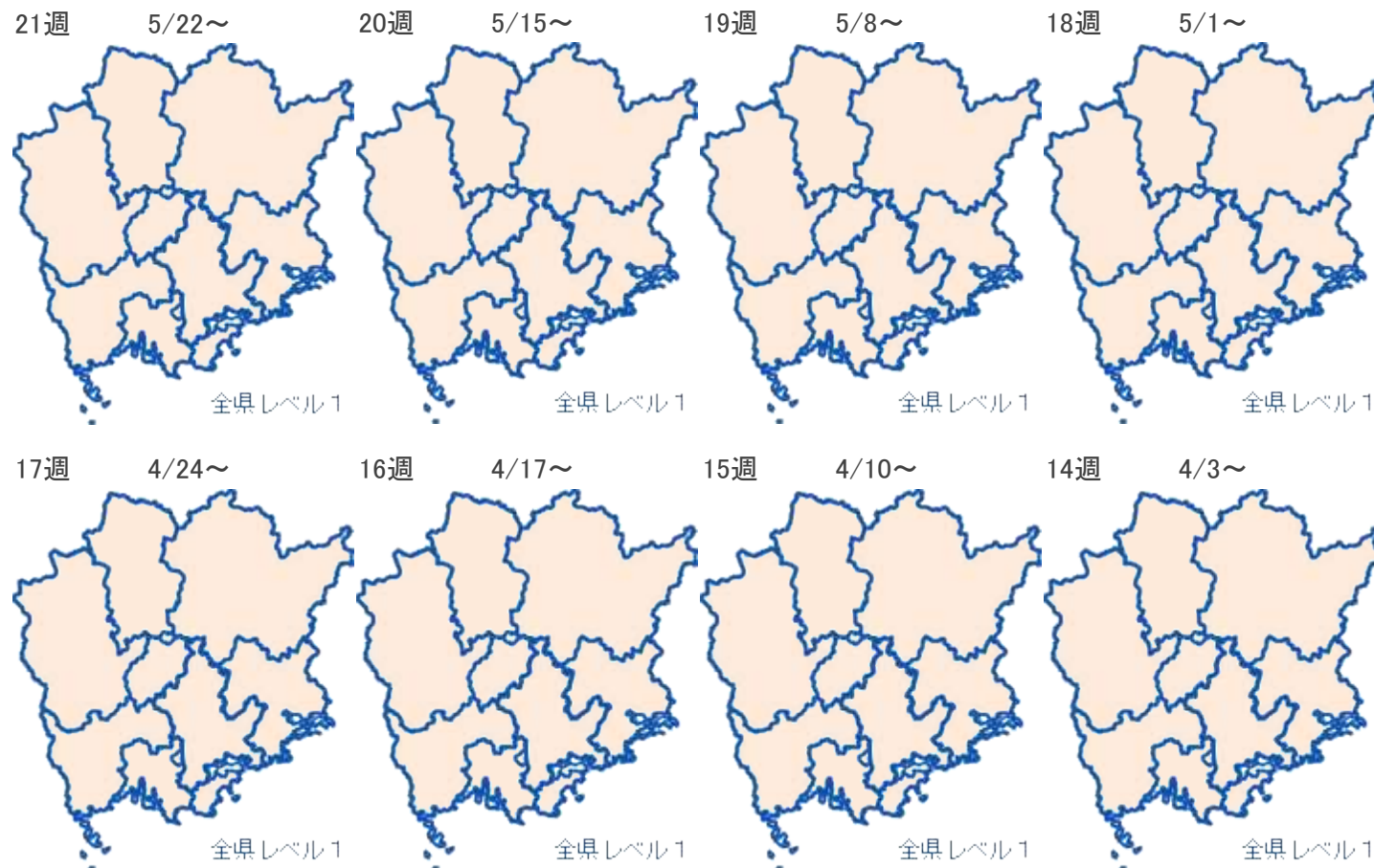
* 重複あり



2023年 21週

2023年5月31日

10:04:32



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。